

ARTS PRESSES

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 114 指揮者

大野和士

「まちと劇場と人つなぐ音楽の力」

神奈川芸術劇場 (KAAT) 2011年1月オープン!
劇場を育てる 生きているデザインの極意
海・夏に注目!

大野和士

Kazushi Ōno 指揮者

まちと劇場と人、つなぐ音楽の力

世界各地のオペラシーンを席卷する、
唯一の日本人指揮者と言っていい。
それでいて、8月の神奈川県立音楽堂での
レクチャーコンサートをはじめ、
音楽と一般の人々をつなぐ活動にも
積極的に取り組んでいる。
まちと劇場とそこに生きる人を、
音楽はどう結ぶことができるのか。
一時帰国を機に、そのヴィジョンを語ってもらった。

—どんなに忙しくても帰国の折には、各地での病院コンサートなど、必ず社会との接点を持つ活動をなさっていますね。

こういうものは現役を退いてからゆっくりと、という人もいるでしょう。でも私は、自身が音楽家として充実しているうち、気力、体力があるうちにやるべきことだと思っているんです。それが、音楽家として生まれた責務だと。日本に限らず、自らお金を出して演奏会に来るなんていう人は1割にも満たないはず。経済的に余裕がない人、音楽がそんなに身近でない人、音楽は好きだけど家庭の事情で外に出ることができない人。そういう人たちのために音楽をやらずして、音楽家だなんて言うてはいけないような気がして。

—最初に音楽監督のポジションを得たのが戦禍のクロアチア(ザグレブ・フィル)だったことも、社会への意識を高めるきっかけに？

それももちろんあります。あの地では、音楽が生きることそのものだった。ボランティアで子どもたちに毛布を配ったりしながら、貧しい人々に対し、音楽は一体何ができるんだろう、とよく考えた。でも、社会への問題意識は、日本にいた頃からずっと持っていました。人生で最も楽しい日々を過ごしているはずの子どもたちが、社会とコンタクトできなくなっている。ゆがんだプレッシャーに押しつぶされて。そういう子どもたちの心の扉を開けるのが音楽であり、芸術の力だという確信が、僕にはあった。それは、僕自身がそうやって、音楽に導かれてきたから。幼い頃、音楽が流れてきたら衝動的に床を転げ回っていたし、小学校の時に初めて聴いた「椿姫」に心を揺さぶられ、その時のチケットをずうっと宝物にしていた。今も僕は、国籍も年齢も関係なく、音楽で、世界中で自分をさらけ出している。そしてそれは僕だけのことじゃない、決して特別なことじゃないと思うんです。



—昨年の夏には東京でも、ストラヴィンスキーの「火の鳥」を素材に絵を描いたり、踊ったりする教育プログラムを実践されましたね。子どもたちへの視線は人一倍熱いようですが。

私自身がまだ子どもだというのがありますが(笑)。一番影響を受けたのは、私が以前に音楽監督を務めていたベルギーのモネ劇場がやっていた教育プログラムですね。たとえばヴェルディの「アイダ」を教材にするときは、まず古代エジプトの象形文字・ヒエログリフから教える。それからピラミッドについて説明して、ゲネプロ(総稽古)に来させる。いま首席指揮者を務めているリヨン歌劇場でも、地下ホールで毎週末、入場無料のコンサートをやっているんですが、黒人、アラブ人、トルコ人と、それぞれ民族のつぼのような光景になる。日常的に劇場にアクセスしない人たちがやってくるんです。そして、ね、ここが肝心なんですけれど、同じ劇場の別の扉を開けると……そこでオペラをやっているわけですよ！ それこそ黒人が主人公の「ボーギーとベス」とか、トルコ人が出てくる「後宮からの誘拐」なんかをね。

—日常とひと続きのところにはオペラがある。劇場が、その媒介となっているんですね。

劇場の外は、若者たちがヒップホップを踊るために解放しています。教育プログラムでは、彼らにオーケストラの前で踊ってもらうこともある。そんな試みの成果もあって、リヨンでは定期会員の、実に4分の1が25歳以下なんです。これは、世界のどの劇場でも考えられない数字だと思う。オペラの観客の高齢化は、どの劇場にとっても最も大きな問題ですから。今回の帰国前、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場で指揮をしてきま

したが、出し物も斬新で、新しい聴衆の開拓に腐心しているのをひしひしと感じました。ドイツの劇場には「オープンデー」っていうのがあって、入場無料で誰でも出入りできる。学校のコーラスが使っていたり、舞台装置を使った「レーザー光線ショー」なんてのをやっていたりする。劇場って実は、とっても贅沢な空間なんです。何をやっていい。活用の仕方次第で、どんどん血が通ってくる。そして、街に住んでいる人たちに、その存在をアピールすることになるんです。

—大野さん自身も、音楽と聴衆との媒介でありたいと？

今はオペラの世界でも、映画とか舞踊とか、いろんなジャンルの人を巻き込んで目新しいことをするのがトレンドになっているようですね。それはそれでいいかもしれませんが、それがオペラの観客層を厚くしているとは必ずしも言いがたい部分もある。私にとって一番大切なのは、やはり、音楽をどう聴かせるかということ。私自身は音楽の世界で、存分に羽を広げてきた。でも、音楽家としてこの世に生きている以上、もうひとつの翼を持たなきゃいけないと思う。どうすれば音楽と聴衆との出会いの扉を閉ざさず、人々が音楽に出会い、目覚めるきっかけを与えることができるのか。そういうことをいつも、心のどこかで考えています。

(取材・文 吉田純子/朝日新聞記者)

(写真 大野純一)



大野和士 (指揮者)

Kazushi Ōno

1990-96年ザグレブ・フィル音楽監督。96-2002年バーデン州立歌劇場音楽総監督。92-99年東京フィル常任指揮者、現在同楽団桂冠指揮者。02-08年ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)音楽監督。2008年9月より、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者に就任。これまで、オペラ公演でミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、グラインドボーン音楽祭に一挙に出演。2011年には、バイエルン州立歌劇場ヘデビューする。東京生まれ。東京藝術大学卒。87年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。93年第1回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、同年平成4年度芸術選奨文部大臣新人賞、97年出光音楽賞大賞、2002年第1回齋藤秀雄メモリアル基金賞などを受賞。06年6月、大野和士指揮モネ劇場オペラ公演がフランス批評家大賞、ヨーロッパ大賞をダブル受賞。07年3月平成18年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞、08年4月紫綬褒章受章。10年芸術院賞、サントリー音楽賞受賞。

大野和士氏 公演情報(日本)

大野和士のオペラ・レクチャーコンサート

8月27日(金)18:30 神奈川県立音楽堂

☎ 045-263-2255 (残席僅少)

小山実稚恵25周年記念公演/
東京都交響楽団

9月3日(金)19:00 サントリーホール

☎ AMATI 03-3560-3010

ワーグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」

12月25日(土)14:00、28日(火)17:00、

2011年1月4日(火)14:00、1月7日(金)14:00、

10日(月・祝)14:00

新国立劇場 ☎ 03-5352-9999

東京フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会

2011年1月13日(木)19:00

東京オペラシティコンサートホール、

14日(金)19:00 サントリーホール、

16日(日)15:00 オーチャードホール

東京フィルハーモニー交響楽団 ☎ 03-5353-9522

COLUMN 今月の小コラム

大野和士さんにQ&A

—県立湘南高校のご出身で、長く横浜にお住まいでした。幼い頃の思い出は？

当時は自宅近くの山が切り崩され、どんどん街がベッドタウン化していました。それでも、ちょっと山に入ればイタチもマムシもタヌキも出て、それを追いかけて毎日走り回ってた。ピアノを弾くより、そんなことの方が多かったかな。おかげで逃げ足が速くなった。

—横浜で好きな場所は？

音楽堂のある紅葉坂ですね。坂を上がっていくと、右手に音楽堂。一步踏み出すごとに、文化の香りに包まれていく。でも下りは対照的。雑多人が集う日常へと戻ってゆく。まるで、聖と俗を結ぶ道のようなじゃないですか。子どものころ、この音楽堂で、巖本真理さ

んとか安川加壽子さんとか、大演奏家たちの演奏に初めて触れました。初めてサインをお願いしたのが、確かヴァイオリンの江藤俊哉さんだった。

—いま拠点とされているフランスのリヨンの街との共通点は？

リヨンも横浜も絹の街。どんな文化をも受け入れ、そして発信するイメージがありますね。食べ物が美味しいのも一緒。そうそう、リヨンの「ポール・ボキューズ」っていう超高級レストランが、なんと最近ハンバーガー屋を出したんです。早速行ってみたら、低カロリーで、しかもソースがとて美味しくて。このチャレンジ精神、私も見習わなきゃなあと感じました。

劇場を育てる 生きているデザインの極意



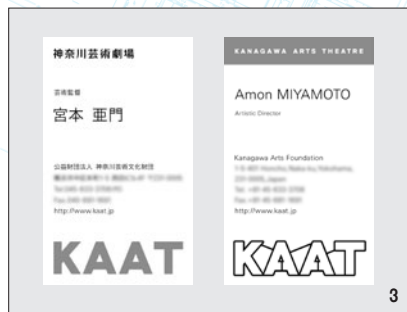
デザインとは生きているもの、そして時間と共に物語を作るもの。神奈川芸術劇場のシンボルとなり、新しい場の可能性を発信・演出するロゴマークや劇場内のサイン。これらはデザイナー、佐藤卓氏の手によるものです。制作の意図や、背景となるコンセプトを楽しさあふれる展開も含めてうかがいました。

「デザインには物語がある」。佐藤卓氏の仕事を端的に表すメッセージとして、これほどわかりやすい言葉はほかにないかもしれない。シンボルとなるマークやロゴとして形になれば終わるのではなく、新しい可能性が吹き込まれてみんなが育てていくというストーリーが始まるのだ。神奈川芸術劇場のシンボルとなるロゴ〈KAAT〉には、そうした氏の「真面目な遊びごころ」とも言える仕事や、どう生かされていくのだろうか。

「アイデアの前提となったのは、私に声をかけてくださった芸術監督の宮本亜門さんのお考えです。劇場が街や人と一体化し、亜門さんのお人柄と同様にフレンドリーな場として機能するというビジョン。そうしたものを元気に楽しく発信したいという目標が生まれて、〈KAAT〉という親しみやすいロゴや、横浜の歴史が生み出す強さと均衡するようなオレンジのシンボルカラーなどへ結実しました。私自身も横浜には数え切れないほど遊びに来ていますので、街の変遷も見えてきています。港町としての歴史や古い建物が並ぶ風景の質感、そのマテリアルなどが強いパワーを作り出しています。神奈川芸術劇場はそれに溶け込むのではなく、むしろ開放的で強い存在感を発信するべきだと考えたのです」

こうした考えを前提に、ディスカッションと精査を重ねて生まれたのが、〈KAAT〉という4文字をモチーフにした2タイプのロゴ(左の図を参照。立体ロゴ[1]と、黒文字のロゴ[2])。なお[2]は実際にはオレンジ色でも使われる)。通常であればこうしたロゴやマークなどは1種類に絞られ、カラーリングにも厳格な色指定等のルールが決められるものだが、今回のデザインは既存の固定観念に縛られることなく大きな可能性を秘めているのだ。

「[1]が発想の受け皿となり、その結果として生まれたもののひとつが[2]だ」と考えてみてください。また[1]の黒いラインを浮き立たせ、三次元化してみまじょうか。



立体ロゴ[1]と、黒文字のロゴ(実際にはオレンジ色でも使われる)[2]。オフィシャルの封筒やスタッフの名刺等には、2タイプが表裏一体をアピールするように印刷されている[3]。そして立体ロゴ[1]を実際の型に試作してみたのが[4]。



佐藤 卓 (さとう・たく)

佐藤卓デザイン事務所 代表取締役。

「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」「エスビー食品 SPICE&HERB」などの商品デザイン及びブランディング、「クリンスイ」のグラウンドデザイン、金沢21世紀美術館や国立科学博物館などのシンボルマークを手がける。その他、NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」の企画メンバー及びアートディレクター、21_21 DESIGN SIGHTのディレクターも務めるなど、多岐にわたって活動。また、大量生産品をデザインの視点から探求した『デザインの解剖』プロジェクトが話題を呼ぶ。

K A A T を 支 える ク リ エ イ タ ー た ち

#2

本郷 聡

鹿島建設株式会社
横浜支店
横浜山下町B1街区
(事)所長

神奈川芸術劇場(KAAT)の建築も、7月末の県への建物の引渡しを控え、大詰めを迎えています。今回登場のクリエイターは建築を担当する鹿島建設の本郷聡さん。建物と劇場の特徴、そして建設の実情について聞きました。

—この建物では神奈川芸術劇場とNHK横浜放送会館が併設されています。NHKには災害時の報道という役割もあり、地震対策が大きなポイントだそうですね。

建物が震動を吸収する厚いゴムの上に載っている構造で、最初に地面を地下まで鉢形に掘ってコンクリートを桶のようなかたちに厚く打ち、そこにゴムを載せ、その上に基礎を造って建てています。遮音も大切ですから、ホールとその下部のNHKの間には音が伝わらないための1フロア分の遮音層が設けてあります。近くに地下鉄が通っているので振動対策も講じていて、これほどまで免震・遮音・防振対策を施した建物は、あまりないと思っています。

—入口を入ると吹き抜けの大空間(アトリウム)があり、その横にNHKと劇場が重なっています。実際の建設工事は大変そうです。

ふつうの建物では床を造って、そこに柱、壁と、積み上げていけますが、このような大きな空間の建物では、床がないところに空間や壁を造るなどの、工夫が必要です。資材をいかに工事する場所に持っていかけるのが大きな問題で、足場の枠組みで仮床を造ってそこを足がかりにするなどしました。また、階ごとに形状も造り方も異なり、外装でも鉄板、ガラス、タイルと仕上げ材も違います。資材のやりとりや置き場も含め、この段階ではこうやろう、次の段階では



躯体工事中(2009年5月)

完成間近(2010年5月)

こうやろうと、いつも以上に先へ先へと読んで、段取りをつけなければならなかったですね。

この劇場の特徴の一つは、可動式の客席など、演目、演出に応じて自由に使えることです。そのためにはさまざまな機械を取り付けなければならず、床や壁もそれに依拠して取り外し可能な部分が多い。舞台機構、照明、音響などの工事は専門会社の担当で、鹿島の役割はそれが入る建物づくりになります。それぞれの建物本体にも大きな関わりがあるわけで、細かな打ち合わせを入念にしました。館長の眞野純さんたち劇場スタッフも含め、一緒に話し合っ、考えて。毎日が勉強でした。

—建物の完成まであと少しとなりました。

ほぼスケジュール通りに進んでいて、ホッとしています。開館後はこの劇場が、山下町という横浜の文化の中心で息づいて、街に賑わいをつくってくれるといいですね。

(取材・文 渡辺美和子)

劇場のフロアガイドなど、施設案内はホームページで! <http://www.kaat.jp>

そこに壁が生まれ、4つの文字がバランスよくつながった〈型〉のようなものになりますよね(左の図[4])。これ、実はクッキーを焼くときに使う型をイメージしているんです。しかもクッキーだけではなく、型を大きくして〈KAAT〉の形をしたソファやお子さんのための遊具を作ってもいいでしょう。流し込むものやアイデア次第で、いろいろなものや遊び方が生まれるんです。そして、この〈型〉やそのおおもとなるロゴ[1]が劇場だと考えれば、神奈川芸術劇場のコンセプトが見えてくるのではないのでしょうか。劇場という〈型〉にもいろいろな人が集まり、たくさんの作品が上演される中で新しい可能性が生まれていきます。まさに〈KAAT〉のロゴは神奈川芸術劇場そのものであり、ロゴが劇場のあり方を体現しているとも言えます」

こうした発想が「生きているデザイン」を私たちに提示し、2011年1月の開館を起点としてさまざまなアイデアが注ぎ込まれる楽しみも与えてくれる。劇場は単に作品を上演するだけではなく、常に生きているメディアとして育つのだ。

「それこそが亜門さんのおっしゃる〈開かれた劇場〉への一歩でしょうし、また『モノをつくる 人をつくる まちをつくる』という理念をもった神奈川芸術劇場を体現しているとも言えるでしょう。型からはみ出してしまういいんです。型やルールが存在するからこそ自由という概念が生まれ〈場〉に活気が出てくる。俳句でも5・7・5という型があるからこそ、字余りを楽しむというおもしろさも獲得できたわけですよね。〈KAAT〉のロゴ[1]は、自由を得るための型なんです。実はクッキーを焼く型もすでに試作しているんですよ。開館したらグッズとして販売できたらいいですね。みんなでクッキーを焼いてそれを写真に撮り、コンテストをしたりプリントを劇場内のあちこちに展示したり、お客様と楽しみを共有できるアイデアがどんどん湧いてきます」

ロゴで遊ぶというアイデアを聞くと、当然ながら来場者にもいろいろな楽しみが提供され、期待を胸に多くの人が集まる光景が目浮かぶ。

「建築物としての神奈川芸術劇場は、完成すれば動くことはありません。しかし劇場という空間やそこにある時間は未来に向かって動いていきます。ですから予想できないような楽しみ方が生まれたり、もしかするとお客様から提示される可能性もあるわけですよね。ロビーやアトリウムなどもそうした場になるでしょうし、私もみなさんと共に、神奈川芸術劇場という場を楽しんでいきたいと思っています」

(取材・文 オヤマダアツシ)

神奈川芸術劇場〈KAAT〉からのお知らせ

芸術監督・宮本亜門の就任所信表明

2011年1月のオープンを前に、神奈川芸術劇場(KAAT)では、4月7日、神奈川県民ホールを会場に、初代芸術監督・宮本亜門の就任記者発表を行った。県知事による芸術監督の紹介のあと、その所信表明では、モノ、人、まちの「3つのつくる」という芸術劇場の理念を踏まえ、「なぜ演劇が必要か、我々はどうに生きるのか。劇場を人と人とのコミュニケーションの場にしたい。ジャンルを超え、いろいろなものを体験してほしい」と熱い思いが語られた。柿落しの演目は、自ら演出する三島由紀夫原作の「金閣寺」。演劇に人生を救われた経験や、敬愛するピナ・バウシュの振付作品を鑑賞しに、ドイツのヴッパータールを訪れた思い出も

披露。「作品を観たいという人達が、世界中から集まってくるような、魅力的な舞台を提供して街作りに貢献していきたい」と結んだ。

(渡辺真弓)



松沢成文・神奈川県知事と宮本亜門・芸術監督

海・夏に注目!

太陽の輝きと波の音で
開放的・活動的な気分!
2010年の夏が幕を開け
多彩なイベントが行われます。
夏休みが楽しくなる
ファミリー向けのコンサートも。
海に憧れた芸術家たちの
エピソードも心の糧にどうぞ。



©横須賀美術館



音楽を聴きながら冒険の航海へ、 船乗り作曲家が描く波の鼓動

海に魅了されたクラシック音楽の作曲家は数多く、中にはリムスキー=コルサコフのように自身が船乗り(ロシア海軍士官)だったという例もある。代表作である『シェエラザード』は『千夜一夜物語』をモチーフにした作品だが、「海とシンドバッドの船」と題された曲では、オーケストラが舟歌と呼ばれる、まるで波に揺られているようなリズムを演奏。聴き手を音楽による航海へと誘ってくれる。Bon Voyage!



海と釣りを愛した作家の人生観、 ヘミングウェイに学ぶ夏

「魚が釣れない日は、人生について考える時間を魚がくれたのだと思えばいい」。作家アーネスト・ヘミングウェイが残した多くの名言を、人生の指針として愛する人も多いのではないだろうか。自らも釣りを愛した彼は小説やエッセイでもその美学をしたため、名作『老人と海』を筆頭として私たちに生きる意味を問いかける。夏の海を眺めつつ、来年没後50年を迎える彼の作品に接してみたいだろうか。



マストにしばりつけられた男、 海の見方を教えてくれるターナー

19世紀の英国ロマン主義～印象派の先駆けとなったJ.M.W.ターナー。『戦艦テレメール号』『海の怪物がいる日の出』など、海を描いた風景画家でもあった。中でも大自然への畏敬を表現した『吹雪、港の沖の蒸気船』を描いた際には、波頭や雲の動きを克明に描くため、水夫に命じて船のマストに数時間もしばりつけてもらい観察したというエピソードが、彼の絵を見れば、あなたも海の印象が大きく変わるだろう。

(オヤマダアツシ)

>PICK UP

横須賀美術館

ブルーノ・ムナリー展
～アートの楽しい見つけ方～

6月26日(土)～8月29日(日)
10:00～19:00(土曜20:00まで)

*8月2日休館

デザイン、絵本の制作、子どものための造形教育など多岐にわたる分野で活躍したイタリアのアーティスト。ムナリーの遊具で遊ぶことができるコーナーもあり、夏休みに親子で楽しめる展覧会。
一般700円/高年生・65歳以上500円/中学生以下無料

お問合せ:横須賀美術館

☎ 046-845-1211

ミュージア川崎

シンフォニーホール

フェスタ サマーミュージア

7月25日(日)～8月15日(日)

ミュージア川崎に首都圏9つのオーケストラが大集合!本格的な内容のコンサートが、お手頃な価格で楽しめる。

8月1日(日)～3日(火)の

「こどもフェスタ」は4歳以上入場可
(詳細はホームページをご覧ください)

<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

お問合せ:ミュージア川崎シンフォニーホール

☎ 044-520-0200

葉山しおさい博物館

葉山しおさい公園内にあり、相模湾の海洋生物をテーマとした魚類、貝類などを展示。昭和天皇のコレクションや深海生物の展示はこの博物館ならではの。隣に神奈川県立近代美術館・葉山がある。

開館:9:00～16:50

(しおさい公園の入園は16:00まで)

休館 月曜(祝日の場合は開館)。祝日の翌日、年末年始、その他臨時休館日あり。

お問合せ:葉山しおさい博物館

☎ 046-876-1155

神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏会案内

ブルーアイランド氏の おしゃべりコンサート

8月6日(金)18:30開演
東京オペラシティコンサートホール
9月1日(水)18:00開演
ミュージア川崎シンフォニーホール

指揮・お話:青島広志
全席指定 おとな3,000円
こども(小学生から中学生まで)2,000円
親子ペア4,500円

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00～18:00)
<http://www.kanaphil.com>

第265回定期演奏会

9月10日(金)19:00開演
横浜みなとみらいホール大ホール

指揮:金聖響 ピアノ:伊藤恵
チェロ:山本裕康 ヴィオラ:柳瀬省太
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番、
R. シュトラウス/交響詩「ドン・キホーテ」
\$6,000円 A4,500円 B3,000円
学生(B)1,000円
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

神奈川近代文学館 企画案内

長崎源之助展 — 『つりばしわたれ』『ひろしまのエノキ』『汽笛』 (同時開催:文学の森へ 神奈川と作家たち展 第2部)

横浜に生まれ育った児童文学者・長崎源之助(1924～)の最新作『汽笛』や『ひろしまのエノキ』を軸に、平和の大切さを伝え続ける作品世界を原画とともに紹介。

8月7日(土)～9月26日(日) *休館日は毎月曜日(9月20日は開館)

大人400円

20歳未満及び学生200円(高校生以下、65歳以上は無料)

9:30～17:00(入館は16:30まで)

神奈川近代文学館 第3展示室

〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町110

☎ 045-622-6666

夏はやっぱり音楽! ~神奈川県民ホールと神奈川県立音楽堂の夏休み特集

夏休みはたくさんワクワク体験がいっぱい。横浜きっての「文化ゾーン」紅葉坂の音楽堂と、港・山下公園前の県民ホールでも、子どもたちも一緒に、家族で楽しめるコンサートがいっぱいです。一流の音楽家による生の音楽体験は、感性豊かな子ども時代の宝物。ぜひこの夏は我が家の王子様、王女様もコンサートホールデビューを!



「季節の風」コンサート(ミニ) パイプオルガン・夏休み子どもスペシャル

県民ホールのパイプオルガン、公立コンサートホールでは日本で一番歴史があると知っていましたか? 何千本もの様々なパイプを詰めこんだ「世界で一番大きな楽器・オルガン」にはこの世に同じものは1つありません!

そんなパイプオルガンを近くで見て、知って、触れて! コンサートホールに響く多彩な音の世界に出会いませんか?

8月21日(土) 14:00開演(1時間・休憩なし) 県民ホール小ホール

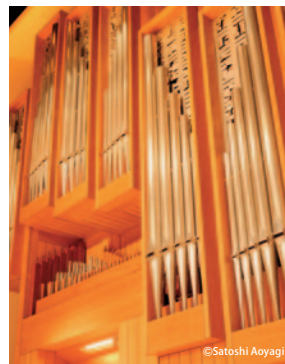
全席指定 500円

オルガン・おはなし: 内海恵子

曲目: J.S.バッハ/トッカータとフーガ 二短調 よりトッカータ、主よ人の望みの喜びを
リムスキー=コルサコフ/熊蜂の飛行、チャイコフスキー/「くるみ割り人形」より
サン=サーンス/「動物の謝肉祭」より白鳥、ヴィドール/交響曲第5番よりトッカータ

※3歳以上入場可(一人1枚のチケットが必要です)

※内容は主に小学校の中・高学年を対象とした構成です。



内海恵子



タラフ・ドゥ・トランシルヴァニア

ドラキュラもびっくり!? 東欧のロマン溢れる不思議の森からやってきた、エネルギッシュなジプシーヴァイオリンを、木のホールで聴く!

8月13日(金) 19:00開演

全席指定

一般4,000円

学生(24歳以下)・シルバー(65歳以上)3,500円

出演: タラフ・ドゥ・トランシルヴァニア

(ヴァイオリン2名、ヴィオラ2名、コントラバス1名)

曲目: トランシルヴァニア各地方に伝わる古典曲、

モンティ/チャルダシュー ほか

※未就学児の入場はご遠慮願います。



子どもと楽しむ夏・音楽堂 仲道郁代ピアノ・コンサート

日本を代表する演奏家が、子どもたちに音楽の素晴らしさを贈る音楽堂8月恒例のコンサート

8月29日(日) 14:00開演

全席指定

一般3,500円

中高生1,500円

小学生1,000円

ピアノ・お話: 仲道郁代

曲目: 第1部/お話と演奏 ショパンが愛用したピアノ「プレイエル」を「知る」「聴く」

第2部/コンサート~ショパン名曲集

※未就学児の入場はご遠慮願います。



主催: 神奈川県民ホール 神奈川県立音楽堂 (ともに指定管理者: 公益財団法人 神奈川芸術文化財団) 託児サービス(要予約): チャイルドサービス遊 045-774-2711(月~土 9時~18時)

チケットの
お求めは

インターネットチケットセンター(24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>

県民ホールチケットセンター 045-662-8866 (10:00~18:00)

音楽堂チケットセンター 045-263-2255 (13:00~17:00月休)

協賛ご芳名 神奈川国際芸術フェスティバル

開催期間: 平成22年4月18日~7月22日

第17回神奈川国際芸術フェスティバルを開催しております。本フェスティバル開催にあたり、皆様よりご支援をいただいております。ここにご芳名を掲載し、感謝申し上げます。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団



【協賛】

株式会社アクトエンジニアリング
株式会社浅岡装飾
学校法人岩崎学園
株式会社ウォートル
株式会社NHKアート
株式会社勝烈庵
財団法人神奈川県経営者福祉振興財団
神奈川県信用保証協会
神奈川県民共済生活協同組合
神奈川県理容生活衛生同業組合
株式会社神奈川保健事業社
神谷コーポレーション株式会社
川本工業株式会社
かをり商事株式会社
株式会社キョウエイ装飾
キリンビール株式会社
グレッツ・ジャパン・スズゼン株式会社
株式会社合同通信
生活協同組合コープかながわ

国際警備株式会社
株式会社さが美
株式会社JM&カンパニー
株式会社ジェイコム湘南
シルクセンター
鈴鹿かまぼこ株式会社
生活クラブ生活協同組合
株式会社清光社
全労済神奈川県本部
大栄電子株式会社
タカナシ乳業株式会社
月島機械株式会社
東京ガス株式会社
東京電力株式会社神奈川支店
東工株式会社
東神工芸株式会社
ナイス株式会社
日産自動車株式会社
株式会社野毛印刷社
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

平安堂薬局
株式会社ホテル ニューグランド
株式会社マインドウェア
丸茂電機株式会社
三沢電機株式会社
森平舞台機構株式会社
株式会社山武ビルシステムカンパニー横浜支店
ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社有隣堂
株式会社豊商會
株式会社ユニコン
株式会社横浜アーチスト
株式会社ワイバーン株式会社
株式会社横浜銀行
横浜新都市センター株式会社
横浜トヨペット株式会社
株式会社ワイイーソリューションズ
【協力】
神奈川総合設備株式会社
神奈川トヨタ自動車株式会社

株式会社崎陽軒
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
サッポロビール株式会社
鈴鹿かまぼこ株式会社
株式会社東芝首都圏南支社
株式会社野毛印刷社
野村證券株式会社横浜支店
三菱地所株式会社
【かながわアーツ(倶楽部)法人会員】
上野トランステック株式会社
株式会社ウォートル
株式会社神奈川新聞社
かをり商事株式会社
株式会社鈴鹿蒲鉾本店
tvk
東工株式会社
奈良建設株式会社
株式会社野毛印刷社
横浜信用金庫
(匿名:企業1、個人1) 2010年5月31日現在

WHAT'S ON? 02

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

横浜中華街 (関帝廟、中華街全域)



2010年 関帝誕

「三国志」にも登場する武将・関羽の誕生日を祝い、中華街全体がにぎやかなお祭りに。関羽を乗せた神輿や獅子舞などが、関帝廟からストリートをパレードする様子は必見。
8月4日(水) パレードは17:00頃よりスタート(雨天中止)
お問合せ: ☎045-226-2636(横浜中華街関帝廟 関帝誕実行委員会)

神奈川県立歴史博物館



夏の特別企画「まつり — 人々のつどい、にぎわい —」

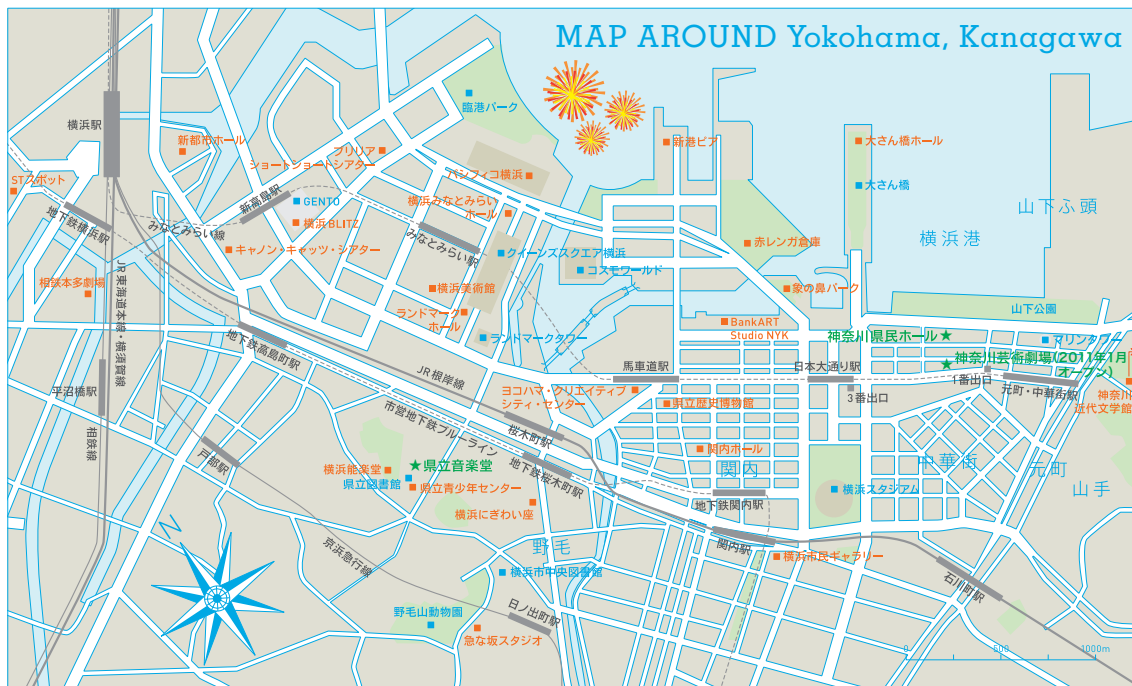
歴史を肌で感じる館内で、絵画や焼きものなどに描かれた夏の風物詩「まつり」のさまざまな光景を展示。日曜日(8月29日をのぞく)には学芸員によるツアーを実施。
8月29日(日)まで。開館時間: 9:30~17:00(入館は16:30まで) 7月19日を除く月曜日および7月27日は休館
お問合せ: ☎045-201-0926(神奈川県立歴史博物館)

BankART Studio NYK



[1] Summer Open 2010 BankART AIR Program [2] 朝倉展

「Summer Open 2010」は45組のアーティストによる創作活動を見ながら、アートの最前線を知る1週間。「朝倉展」では、日本を代表する舞台美術家・画家の作品を全館で展示。イベント等も予定されている。
[Summer Open 2010] 7月30日(金)~8月5日(木) 入場無料
[朝倉展] 9月10日(金)~11月7日(日) 展示・イベント内容なども含め、詳細は下記へ
お問合せ: ☎045-663-2812(BankART 1929)



森さんぽ 2

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

創業120周年記念 第25回神奈川新聞花火大会

横浜ランドマークタワーから撮影。

2つの花火がカップルのように寄り添う。

8月1日(日) 19:15~20:30 (荒天順延)

(みなとみらい・臨港パーク前面海上)

お問い合わせ: 大会実行委員会 ☎045-227-0744



県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info> 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。



コカ・コーラ セントラル ジャパン 株式会社
Coca-Cola Central Japan Co., Ltd. コカ・コーラ 株式会社
<http://www.cccj.co.jp>
Coca-Cola is The Coca-Cola Company の登録商標です。